

<p>タイトル</p>	<p>白中防災 Day !!</p>			
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策の状況が分からない ・ 避難の体験をしたことがなく何も分からない不安な気持ち 			
<p>提案内容</p>	<p><u>避難所の生活を体験してみよう。</u> <u>災害：大雨</u></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p><活動内容></p> <p>1日体育館に泊まり、避難体験する。 1人1人定めた環境をつくるために、 図書館 → 読みかきかせ (小さい子) 教室 → イベント (ゆなげ・祭り) をして、避難についての話や体験談 をきいて学習もある。</p> </td> <td style="vertical-align: top; width: 30%; border-left: 1px dashed black;"> <p>(1日) 朝: 防災バックで学校へ * 防災マップで危険な 場所チェック!!</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 危険な場所を知る 2. 避難訓練 3. 救急救命講習会 4. 非常食作り 5. 防災士さんの話 避難所づくり <p>(2日) 引き出し訓練</p> </td> <td style="vertical-align: top; width: 20%; border-left: 1px dashed black;"> <p><活動日></p> <p>防災の日 9月1日 9月2日</p> <p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白中生 ・ 白鳥町内 の二れる人 </td> </tr> </table> <p>この活動を通して、避難所に行きたくないという課題を解決し、不安な気持ちをなくす。 として、いざ避難するときの動きが分かる。</p>	<p><活動内容></p> <p>1日体育館に泊まり、避難体験する。 1人1人定めた環境をつくるために、 図書館 → 読みかきかせ (小さい子) 教室 → イベント (ゆなげ・祭り) をして、避難についての話や体験談 をきいて学習もある。</p>	<p>(1日) 朝: 防災バックで学校へ * 防災マップで危険な 場所チェック!!</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 危険な場所を知る 2. 避難訓練 3. 救急救命講習会 4. 非常食作り 5. 防災士さんの話 避難所づくり <p>(2日) 引き出し訓練</p>	<p><活動日></p> <p>防災の日 9月1日 9月2日</p> <p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白中生 ・ 白鳥町内 の二れる人
<p><活動内容></p> <p>1日体育館に泊まり、避難体験する。 1人1人定めた環境をつくるために、 図書館 → 読みかきかせ (小さい子) 教室 → イベント (ゆなげ・祭り) をして、避難についての話や体験談 をきいて学習もある。</p>	<p>(1日) 朝: 防災バックで学校へ * 防災マップで危険な 場所チェック!!</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 危険な場所を知る 2. 避難訓練 3. 救急救命講習会 4. 非常食作り 5. 防災士さんの話 避難所づくり <p>(2日) 引き出し訓練</p>	<p><活動日></p> <p>防災の日 9月1日 9月2日</p> <p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白中生 ・ 白鳥町内 の二れる人 		
<p>自分で 行う活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白中生が順番(当番)を決めて運営する。 ・ パソコン部に頼みポスター作り (<u>年齢ごとに作る</u>) ・ <u>会場</u>の整備 ・ <u>消毒設置</u> ・ <u>検温</u> 			
<p>協力者が 行う活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ タシボールを集めているスーパーなどにタシボールをもらう。 ・ 祭りなどの屋台い・ぶたの木学園の準備。 ・ 学校の先生方にも協力してもらう。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>防災士さん からのアドバイス → _____</p> </div>			



2020年度 Good郡上プロジェクト 応募提案

タイトル		白鳥踊りを幅広く広めよう！～チーム対抗！白鳥踊りコンクール！～
課題	何が課題？	・踊りに来る世代が狭い、踊りを知らない人もいる。
	課題の原因は？	少子高齢化が進み踊りに参加する人が偏っている。楽しさを知らない人がいる。
提案内容	「Do」 何をする？	<p>踊りコンクールを開催し、幅広い世代にその楽しさを知ってもらうことで、観光客の増加を図る。また、地域の活性化や地域交流も同時に図る。</p> <p>(企画案) チーム対抗！白鳥踊りコンクール！</p> <p>チームを作って、エントリーし世栄を一曲分踊り、各チームで優勝を狙う。優勝チームには景品がある。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一チーム10人びつたりにする。年代別で別れる。10代、20～49歳、50歳以上に分かれる。一つの部門に対し、5分間で審査を行う。 <p>(採点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「審査」高校生(私たち)か、踊り保存会の方々にしてもらう。見に来るお客さんに、どのチームが一番良かったかを投票箱に入れてもらう。 ・「採点基準」① 声の大きさ 10点 ② 楽しさ&一体感 10点 ③ 踊りの正確さ 10点 ・「ポイントアップ」・衣装、髪型等を揃えると一体感がアップするかも！ ・掛け声必須！ ・周りへのアピールも！ <p>(景品について)</p> <p>各部門の中で優勝チーム1チームにあげる。</p> <p>「10代」 iTunesカード3000円分×10</p> <p>「20～49歳」 生活用品セット(トイレットペーパー、ティッシュ、洗剤)×10</p> <p>「50歳以上」 けいちゃん、明宝ハム、レトルトカレー×10</p> <p>参加費 ジュース(缶)×人数分</p>
	「Chage」 どう変わる？	踊りの参加者が増加し、踊りの楽しさが広まる。そうすることで、地域内でも踊りに興味を持つ人が増加する。また、白鳥町内だけでなく他の地域からの参加者も増加する。
自分で 行う活動	自分たちが提案、行動すること	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクール 計画(上記参照) 準備(ポスター、配布用紙、応募用紙の作成) 運営(当日の司会進行、審査員、投票用紙の集計) ・踊り保存会への協力の依頼
協力者が 行う活動	行政や地域に協力してもらいたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・景品の準備(予算も含む) ・ふれあい創造館内での応募用紙の収集boxの設置 ・踊り保存会の方へのコンクールの審査 ・広報でのお知らせ、配布、無線通知 ・ポスター掲示の許可

<p>タイトル</p>	<p>Make Trip Time in 郡上</p>
<p>課題</p>	<p>・春・秋の観光客が少ない。滞在時間が短い。 ・現在のマップでは時間を基にした細かい計画が立てづらい。</p>
<p>提案内容</p>	<p>2つの案があります。</p> <p>① <マップの改良></p> <p>・今までのマップでは、距離が分かりにくく、思ったより遠かった...というところがあった。 ↓ ・マップ上に、距離と時間を表示。 + 休憩所の紹介をする。</p> <p>・郡上のたこごんのエッセイを知って観光に来てくれる人が少ない！ ↓ 郡上に住んでいる人ならこのエッセイを まとめ、観光スポットとして写真を併せて表示。 → また、このスポットもいくつか作り、その間も時間で表示。</p> <p>・普通より380mで5分程度で、子ども連れの市や不年寄り、また、店を見ながら歩くことも考え、350mで5分程度と表示する。 ・町中はよく歩くと、食歩もできる。休憩所を紹介し、気軽に立ち寄りやすいとする。</p>
<p>自分で 行う活動</p>	<p>・スポットの設定 ・スポットに使う写真の撮影、選定 ・マップの構成、提案 <協力者と(こまごま)> ・送迎の運行時刻の設定 ・マップの案作り ・計画実行</p>
<p>協力者が 行う活動</p>	<p><u>郡上市役所、観光課と市と協力が"LT"です</u></p> <p>・だいたいの距離とその時間の計測 ・八幡城の送迎車と、運転手の手配 ・送迎後の要援助者の対応 (私たちがこの案が出ませんでした。)</p>

2020年度 Good郡上プロジェクト 応募提案

<p>タイトル</p>	
<p>課題</p>	
<p>提案内容</p>	<p><マップの改善を主事としてのメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日、少し足を運ぶ"た"、という人にと、こは時間の管理が"勝負。距離を時間で表すことで"予定や計画が"立てやすく、観光客の時間の管理が"しやすくなる。管理が"しやす"とまより時間や誤算が減るので"旅に余裕が"生まれ、他の店にも気軽に立ち寄って"もら"やすくなる。 ・休憩所を"分かりやすく"示すことで、その近くで"買った食べ物"などを"食べて"もら"やすくなり、また、マップ上でも"近くの店をリサーチする"一つの材料となり、"招客効果が期待"できる。 <p>・マップのスポットを写真も使って示すことで、マップが"残"っている"料"り帰って"お"り、旅の思い出や"お"味を"お"り、リポーターを増やすきっかけになる。</p> <p>また、キレイな写真、きれいな写真をマップに使うことで、その写真を真似して撮ろうとする人が"現れ、それをSNSなどに"お"り、郡上の魅力が"PR"され、"招客が見込"める。</p>
<p>自分で 行う活動</p>	
<p>協力者が 行う活動</p>	

2020年度 Good郡上プロジェクト 応募提案

タイトル	
課題	
提案内容	<p>② <八幡城まで道のりの送迎></p> <p>近年、「SDGs」という取組が注目されています。 それを踏まえ、私たちは、誰もが同じように同じことが体験できるようにしたいと考えました。今の郡上、八幡町内にはどんなことを改善するべきかを考えたとき、お城までの道が、お年寄りや子どもと連れ、特に、障害者の方が登りにくいことが挙げられました。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>お城までの道を専用バスで定期的 に送迎を実施する。</p> <p style="text-align: center;">+</p> <p>実現するため、時刻表をつくり、マップにのせたりする。また、予約も受け付けようとする。</p> <p style="text-align: right;">お城までの道は、長く、狭く、急なため、初めての人や徒歩観光では少し足が遠く。そんな人でもお城やお城からの景色を楽しんでもらえるようバスで行う。車は、車椅子でも可能な窓を大きくして景色を楽しめるように、バス工夫する。</p>
自分で 行う活動	
協力者が 行う活動	

2020年度 Good郡上プロジェクト 応募提案

タイトル	
課題	
提案内容	<p>〈八幡城まで道のりの送迎を予約キット〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SDGs」1へのとり、誰もが体験できるバリアフリーの活動を取り入れることで、今まで来にくかった人も行けるようになり、と足を運びやすくなり、観光客の増加などが見込めます。 ・この取組が「テレビ」でも話題になり、少し遠くからでも郡上の新しい取組を体験したいという人が来るきっかけにもなり、郡上の周知、観光客や、住みやすさ、として移住者の増加も期待できる。 <p>・時刻表をマップにのせると、距離などもおぼせて、観光客の時間の管理がしやすくなり、利用者の増加が期待できる。</p> <p>〈最後に、タイトルに込めた思い〉</p> <p>Make Trip Time というのは、私たちの提案で、郡上に来る人の旅の時間を有効に使うために、新しい時間の余裕を生み出し、より楽しんでもらうために、という願いが込められています。</p>
自分で 行う活動	
協力者が 行う活動	



タイトル	Let's Make New World of Gujo Hachiman
課題	<p>郡上八幡に来る観光客が年々減少しており、町の活気も落ち込んでいる。 現状として郡上八幡の観光客を増やすための明確な対策がなく、まち全体のイメージが下落している。 そこで観光客の増加に向けてまち全体のおよび雰囲気を作りだせる人によりたことしの息を知らせてもらう必要がある。また、郡上八幡の個性を最大限に出し、郡上八幡とハイクラスなイメージを持つ必要がある。</p>
提案内容	<p>城下町マップに加えまち周回マップというものを加え郡上八幡の城下町をお楽しみ周回できるようにする。 また、そのまちをアピールするために、周回マップに親水遊歩道を加え観光客にまちの魅力を最大限に知らせてほしい。客層に合わせて、色々なコースを作り、それぞれのコースをSNSでの発信を利用して利便的な人を郡上八幡に引き寄せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 親水遊歩道の清掃を行う → 小中学生の学校行事とし、市は、行いを募集する。大人の方の参加を促すため、月一回、第三日曜日には清掃日を設ける。シルバー人材センターの方にも協力していただく。 ② 周回マップの作成とサイクリング、ウォーキングを充実させる ↳ マップの作成時に親水遊歩道を追加する。春秋には観光客の増加をねらったサイクリング、ウォーキングのコース作り。そこで知られたい郡上の良さ(景色など)をSNSで発信し、五感で感じ郡上八幡を十分に堪能してほしい。 ③ 多様なコース案と、観光客に対する投票 ↳ 周回マップの中でウォーキングコース、ウォーキングコース、ファミリーコースなどを作り、それぞれの雰囲気や写真をSNSで発信し、視聴者に対する投票を行い郡上に来る人が求めていることを知るきっかけと取得。そして、それをまたまちのイメージをまち全体で盛り上げていく。 <p>他にも、SNSに情報を発信する際につけるハッシュタグに力を入れる。一つとして#view といった英語のハッシュタグの利用で海外も巻き込む。</p> <p>このような活動を行うことで観光地郡上八幡のさらなる高まりと、活気あふれるまちの実現が可能になる。 町のイメージがあることで郡上八幡の個性が利便的な人に認められ、観光客の増加に繋がる。 今やSNSが世界中に普及していることで#郡上八幡がインフルエンサーに活躍することを想像できる。そういったリーチも最大限に活用していきたい。</p>
自分で 行う活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 周回マップのコース提案とその詳細 ② SNS (Instagram) についての投稿する内容の提案 ③ 親水遊歩道の清掃活動の計画と参加
協力者が 行う活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 親水遊歩道の清掃において、シルバー人材センターの方々の協力。 ② 周回マップの製作 ③ SNS (Instagram) のアカウントの開設、管理

<p>タイトル</p>	<p>和良と西和良の魅力体験ツアー</p>
<p>課題</p>	<p>和良と西和良で旧過ごす観光客が少ない。</p>
<p>提案内容</p>	<p>・和良町では和良おこし協議会で農業体験で米の栽培が行われています。そこで米の栽培の体験オポーションとして6つの体験オポーションを提案します。</p> <p>① ホテル観覧ツアー... ホテルを見て回ってもらう。 ② 鮎釣り体験ツアー... いっしょに魚釣りをしてもらう。 ③ △ササヒ見学ツアー... いっしょに見て回る。 ④ ナイトサファリツアー... 鹿をいっしょに見る ⑤ ふるさと伝統芸能体験... かいら笛、おはやし、陣屋太鼓、お茶、陶芸を ⑥ 地元の食材を使った食事作り。をいっしょに行う。 (郡上東中学校ではふるさと学習として講師の方から郡上に根づいている文化を教わっている。観光客の人に東中生が伝統芸能を教える機会にする)</p> <p>・農業体験に来る人が1日中和良と西和良を楽しめる活動積極的にアピールすることで、観光客の増加が見込める。</p>
<p>自分で 行う活動</p>	<p>① 誰が見てもわかるものや場所の提案 ② 案内看板・観光マップ・パンフレットのデザインの提案 ③ オプションへの取り組みを進める。市や自治会への働きかけ ④ ネット動画・パンフレットによる郡上市がオプションを進めていることのPR</p>
<p>協力者が 行う活動</p>	<p>① 提案したオプションによる案内看板、オプション日程表、パンフレット等の製作、設置、活用 ② 道の駅かごへの働きかけの援助 ③ 郡上市がオプションを進めていることをPRするためのパンフレットの作成・配布・動画・サイトの制作</p>

<p>タイトル</p>	<p>LGBTQIA+への理解</p>	
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 郡上は昔からの固定観念があってLGBTQIA+に関して理解が少ない 割合は3人に1人と言われているが公表していない人が多数いる。 時代遅れになる。 	<p>L... レズビアン G... ゲイ B... バイセクシャル T... トランスジェンダー Q... クィエスチョンク I... インターセックス A... アセクシャル +... 名前を呼んでいない性</p>
<p>提案内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講演会をひらく → 小・中・高の学生に <ul style="list-style-type: none"> 小学校^①... ものし、あおかしくはないように。 高^②... 少しあおかしめ。 中・高校生... 実体験の話しを聞く。 → 特に固定観念がある、親さん世代に1番理解してもらえれば親から子どもに話しをすればもっと理解が深まる。 新しいハッシュタグをつくらせて、SNSを使ってLGBTQIA+の普及 → 郡上でLGBTQIA+の理解して貰えば、とアピールもできる。 時代遅れにもならない。 郡上での偏見がなくなれば、同性愛者さんなどの移住者や観光客が増えて、郡上にとってプラスになる 	
<p>自分で 行う活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> SNSでの普及活動 (新しいハッシュタグを考える) 	
<p>協力者が 行う活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講演会をひらいてもらう SNSでの普及活動 	

タイトル	オンラインで単位が取れる大学
課題	<p>郡上で大学を創るとなると、予算がなく場所(土地)もない。 郡上に進学先がないため、外へ出ていくと人口が減ってしまう。</p> <p>男女共に20~24が少いのは進学のために出ていっているから。</p> <p>©jp.gdftreak.com</p>
提案内容	<p>N高がある方に大学でもオンラインを使う。(通信制みたいな)大学は、学校に通わなくてもオンラインを使って授業をすれば単位が取れる。高校生以外でも大学で学ぶ。(大人の方)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしの費用がかからない ・奨学金がかからない ・浮いた金で貯んでできる </div> <div style="width: 45%;"> <p>場所</p> <p>(ふれあい創造館 高校など、Wi-Fi環境がととのっている) 高校が休み、放課後に使う。</p> </div> </div> <p>学校を建てることもないから、その分のお金が省かれる。 生徒数は大体50~100人 学費は、N高を参考にすると、授業料。(単位あたり7,200円) 働いている人が大学いくと会社からの補助金もできる。 学びのフィールド...「介護」「外国語」</p>
自分で 行う活動	<p>生徒を募集する。 し、ポスター制作、広告など</p>
協力者が 行う活動	<p>説明会的なのを手伝ってもらう。 大学は、奥美濃カレーをやっている明治大学。</p>

<p>タイトル</p>	<p>Enjoy 子育て ～郡上のママを美しく～</p>			
<p>課題</p>	<p>全体的に子ども的人数が減少してきている。 郡上という地域は自然が多い、子どもを育てる環境として良いと感じている人も多いが、不満を抱えている人も多い。</p>			
<p>提案内容</p>	<p>アンケートの結果をもとに不満を解消し、子育てをEnjoyできる対策を提案する、</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>Enjoy対策1</p> <p>不満 ①習い事、小学生の託児所が分からず多い。 ②郡上市内にある子育てに関するマップが少い。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>子育てについて役立つ情報を紙などでマップに載せる。マップ内には、習い事などの場所・日時等を載せ、見やすいところに配置する。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>Enjoy対策2</p> <p>不満 ③子どもを遊ばせる所が少い。 ④託児所で預けてもらえる時間短い。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>郡上市内で行われている「赤ちゃんとのお会」体験を拡大させる。中学生からボランティアで見守ってくれる人を集め、ママさんたちはゆるく利用してもらう。 (ママさんの講座や子育て交流会など)</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>Enjoy対策3</p> <p>良さ ①自然が豊か。 ②地域の人が多い。 ③外で思いっきり遊べる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>良さを知っている写真を郡上市内のママさんから募集し、井をつけてInstagramに投稿する。</p> </td> </tr> </table> <p>成果</p> <p>ママさんの不満を少しでも解消することで、子育てをEnjoyすることが増える。郡上市の良さを発信することで郡上市で子育てをした人と思える人が増える。</p>	<p>Enjoy対策1</p> <p>不満 ①習い事、小学生の託児所が分からず多い。 ②郡上市内にある子育てに関するマップが少い。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>子育てについて役立つ情報を紙などでマップに載せる。マップ内には、習い事などの場所・日時等を載せ、見やすいところに配置する。</p>	<p>Enjoy対策2</p> <p>不満 ③子どもを遊ばせる所が少い。 ④託児所で預けてもらえる時間短い。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>郡上市内で行われている「赤ちゃんとのお会」体験を拡大させる。中学生からボランティアで見守ってくれる人を集め、ママさんたちはゆるく利用してもらう。 (ママさんの講座や子育て交流会など)</p>	<p>Enjoy対策3</p> <p>良さ ①自然が豊か。 ②地域の人が多い。 ③外で思いっきり遊べる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>良さを知っている写真を郡上市内のママさんから募集し、井をつけてInstagramに投稿する。</p>
<p>Enjoy対策1</p> <p>不満 ①習い事、小学生の託児所が分からず多い。 ②郡上市内にある子育てに関するマップが少い。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>子育てについて役立つ情報を紙などでマップに載せる。マップ内には、習い事などの場所・日時等を載せ、見やすいところに配置する。</p>	<p>Enjoy対策2</p> <p>不満 ③子どもを遊ばせる所が少い。 ④託児所で預けてもらえる時間短い。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>郡上市内で行われている「赤ちゃんとのお会」体験を拡大させる。中学生からボランティアで見守ってくれる人を集め、ママさんたちはゆるく利用してもらう。 (ママさんの講座や子育て交流会など)</p>	<p>Enjoy対策3</p> <p>良さ ①自然が豊か。 ②地域の人が多い。 ③外で思いっきり遊べる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>良さを知っている写真を郡上市内のママさんから募集し、井をつけてInstagramに投稿する。</p>		
<p>自分で 行う活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関するマップの作成。 ・「赤ちゃんとのお会」体験の企画・運営。 ・郡上公式 Instagram を運営している戸1の協力の要請。 			
<p>協力者が 行う活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マップの配置。 ・子ども写真募集の参加。 ・「赤ちゃんとのお会」体験の協力者。 			

<p>タイトル</p>	<p>バスの利用者をふやそう！</p>
<p>課題</p>	<p> <u><対象></u> ・高齢者 → 免許・車をもっていない人・1人暮らし・スーパーや病院から遠い人 ・学生 → 部活がある人・車での送迎が難しい人 <u><現状></u> ・休日は利用者が少なく、時間帯によって混雑に差がある ・車以外の交通機関が少ない ・乗りたい時間にバスの便が少ない、バス停と目的地までが離れている </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;"> <p>免許返納者が「進まない」要因が「交通機関の不便さがあると思う」</p> </div>
<p>提案内容</p>	<p> 1 郡上市在住の人を対象にバスの利用についてアンケートをとる。 → より使いやすく、便利なバスになるように意見をきく。 </p> <p> 2 私たちが考えた課題を解決するために、高齢者向けに、病院まで乗りつけがしの便をつくる。どの地域からでも利用しやすいようにする。 </p> <p> 3 ① 利用者（とくに学生）をもっとふやすために利用しやすい時間に変える。 → 学生がのりやすい朝・夕などにおよび利用者が増加すると思う。 </p> <p> ② 遠い地域の人から買い物・病院をおまわって帰る時間に合うようにする。 また、最終の便が早く間に合えばいいので、次のバスまで時間がかかりすぎることもある。 → 最終の便を遅くして、便をふやかしたい。 </p>
<p>自分で 行う活動</p>	<p> ・アンケート調査 ・実際には中高生の利用者にリサーチの意見をきけるので、詳しく聞いてみる </p>
<p>協力者が 行う活動</p>	<p> ・バス会社の方に協力してもらい、 ・バスの時間を調整する。 ・アンケート集計 ・のりつけがしの便の検討 </p>



タイトル	郡上の食材をふんだんに使って食品を作ろう！！
課題	郡上には、おいしい食べ物がたくさんあるのに、あまり知られていないと思ったので、もっといろんな人に郡上の食べ物を知ってもらおうと思ったので。
提案内容	<p>市内の中学生で郡上で採れた食材も今ある商品から、新しい食品のアイデアを出し合い、商品化する。</p> <p>〈例〉奥美濃カレー</p> <p>① 今ある奥美濃カレーを市内の学校給食で出し、中学生が食べてみる。</p> <p>↓</p> <p>② 郡上で採れた食材も、今ある商品で合う組み合わせを考える。</p> <p>↓</p> <p>③ 各学校で出たアイデアを実際に作り、良い点も改善点も各学校2~3つ出し合う。</p> <p>↓</p> <p>④ 全体で2~3つに絞り、商品化する。</p> <p>ネットショップ・人気のスーパーなどで出品することで、もっと多くの人に郡上について知ってもらえる。</p>
自分で 行う活動	<p>① 各学校向けにアンケート用紙を作る。</p> <p>② 学校給食センターに、給食に出してもらえよう願いの。</p> <p>③ 作る時間の確保</p> <p>④ 商品パッケージの提案</p>
協力者が 行う活動	<p>① 学校の給食で出してもらう。</p> <p>② 商品パッケージの作製</p> <p>③ 商品作り</p> <p>④ 販売</p>

<p>タイトル</p>	<p>郡上かるた沿線ツアー</p>
<p>課題</p>	<p>長良川鉄道の利用者の減少。</p>
<p>提案内容</p>	<p>長良川鉄道や郡上の自然、歴史と関連させた観光事業をおこなう。 ○ 郡上かるたの沿線にある場所を長良川鉄道を利用してながら巡る。 (観光協会や地元の方に協力してもらい、ガイドをしてもらう。)</p> <p>～ 日程 ～</p> <p>① 阿弥平池 (白鳥) 長良川鉄道 ↓ ハ幡池 (ハ幡) ↓ やなかの二つら (ハ幡) ↓ 宗祖水 ↓ 食品サンプル体験 (ハ幡) ↓ 郡上おどり (ハ幡) ↓ ※ ハ幡で宿泊</p> <p>② ラフティング (美並) 長良川鉄道 ↓ 魚と遊ぶ (美並) ↓ 郡上かるたを参加者で行う。(美並)</p> <p>・ターゲットは10～30歳代の若い層とする。 ・夏の暑さ、日程を考えたため。 ・距離距離により長良川鉄道・徒歩・自転車などの中から選択をする。 ・日程は日買の物とする時間を組みこむ。</p> <p>これらにより長良川鉄道を魅力として発信するとともに、郡上かるたと関連させることで歴史や伝統・自然にふれる機会となり、郡上に興味を持ってもらえて、郡上にも利益が目まぐる。</p>
<p>自分で 行う活動</p>	<p>① マップ、パンフレットなどのデザイン提案。 ② 事業のPR ③ 自分たちしか分からない郡上の魅力的な場戸の提案</p>
<p>協力者が 行う活動</p>	<p>① 観光協会や長良川鉄道などの企業への金銭等、交渉。 ② 参加人数、活動費、参加費の設定。 ③ 事業のPRサイト製作。 ④ 観光協会、地元の方へのガイド募集</p>

<p>タイトル</p>	<p>防災コーナーを運営しよう</p>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災バッグの必要性を分かっていない人が多くいる。 ・防災バッグの中身を知らない人も多い。 ↳ クラスの3/5の人が防災バッグを準備していないのが現状。
<p>提案内容</p>	<p>蒔まつりや春まつりなど他のイベントの一部で行う。</p> <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災についてのクイズ大会 ・難しい防災グッズの使い方講座 ・防災バッグコンテスト <p><対象></p> <p><u>白鳥町民</u></p> <p>防災コーナー → 二人一組 その他 → 誰でも</p> <p>あらかじめ防災バッグに入れそうなものを準備し、オリジナル防災バッグをつくってもらう。上位の人には賞品プレゼント!</p> <p>※下線部は防災士さんからのアドバイス</p>
<p>自分で 行う活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① イベントを広報やケーブルテレビで宣伝してもらう ② イベントを広めるためのチラシ作成 → チラシをくばる ③ イベント前、イベント中の準備や買い出しの手伝い ④ ポスターを作成し、町内にはる <p>白中生を 強調!</p>
<p>協力者が 行う活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① ポスターをはる場所の確保 ② 防災士さんに協力してもらい、防災への知識や動きの事を教えてもらう ③ 開催する場所の確保 ④ イベントで使う物、必要な物の準備、買い出し ⑤ 当日の進行、照明、音響